



平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アイフィスジャパン
 コード番号 7833 URL <http://www.ifis.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大沢 和春
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 大澤 弘毅
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-6825-1250

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	1,091	1.3	160	△17.4	158	△19.3	100	△19.4
27年12月期第1四半期	1,077	20.9	194	136.5	196	137.5	125	125.0

(注)包括利益 28年12月期第1四半期 98百万円 (△21.6%) 27年12月期第1四半期 125百万円 (138.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	10.44	—
27年12月期第1四半期	12.95	12.94

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	3,038		2,463		81.1		255.01	
27年12月期	3,057		2,418		79.1		250.36	

(参考)自己資本 28年12月期第1四半期 2,463百万円 27年12月期 2,418百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	2.00	—	5.50	7.50
28年12月期	—				
28年12月期(予想)		0.00	—	6.50	6.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
第2四半期(累計)	2,200	5.2	300	3.7	300	2.0	190	1.9	19.67	
通期	4,700	10.8	630	8.1	630	6.0	400	4.9	41.41	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年12月期1Q	10,242,000 株	27年12月期	10,242,000 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

28年12月期1Q	582,237 株	27年12月期	582,237 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期1Q	9,659,763 株	27年12月期1Q	9,659,763 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による財政・金融政策を背景に、企業収益や雇用環境は緩やかな回復が続きました。一方、為替相場や株式市場が大きく変動する先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、投資情報サービスや金融向けソリューションサービスが順調に業績を伸ばすとともに、金融関連以外の分野においても事業会社向け受託開発が好調に推移してきております。また、平成28年2月の事業譲受により「セーフリッチ」等の新たな事業を追加し、サービスラインナップの充実を図ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,091百万円(前年同期比13百万円増、1.3%増)、営業利益は160百万円(前年同期比33百万円減、17.4%減)となりました。また、経常利益は158百万円(前年同期比37百万円減、19.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は100百万円(前年同期比24百万円減、19.4%減)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

<投資情報事業>

コンセンサス・データ・サービスを中心にキャピタルアイ・ニュース、キャピタルアイ・データなどのサービスが好調に業績を伸ばすとともに、『IFIS Research Manager』(アイフィス・リサーチ・マネージャー)、『IFIS Consensus Manager』(アイフィス・コンセンサス・マネージャー)の主力商品も堅調に推移しております。また、個人投資家向け投資助言サービスの「セーフリッチ」を追加し、事業内容の拡充を図ってまいりました。

その結果、売上高は209百万円(前年同期比22百万円増、12.1%増)、営業利益は99百万円(前年同期比3百万円減、3.8%減)となりました。

<ドキュメントソリューション事業>

証券調査レポートやIR関連印刷物の受注は前年と同水準となっておりますが、保険会社向けシステム開発、ドキュメントサービスが好調に推移するとともに、W2Pクラウドサービスや翻訳サービスも順調に業績を伸ばしております。

その結果、売上高は293百万円(前年同期比53百万円増、22.4%増)、営業利益は35百万円(前年同期比6百万円増、21.6%増)となりました。

<ファンドディスクロージャー事業>

投資信託市場は、純資産額は増加傾向が続いておりますが、景気の先行き不透明感もあり、勢いは少し落ち着きが見えてまいりました。これらの影響により当社における投資信託関連の印刷受注量は前年同期比で微減しております。一方、確定拠出年金関連の印刷やソリューションサービス、運用報告書などの新たな商材は好調を維持しております。

その結果、売上高は397百万円(前年同期比23百万円減、5.5%減)、営業利益は101百万円(前年同期比8百万円減、8.0%減)となりました。

<ITソリューション事業>

主力事業である事業会社向けの受託開発が好調に推移するとともに、マイグレーションに関する開発及びライセンス販売が堅調を維持しております。システムエンジニアリングサービスでは証券・金融業向けが減少、事業会社向けは増加しております。

その結果、売上高は164百万円(前年同期比61百万円減、27.3%減)、営業利益は9百万円(前年同期比39百万円減、81.2%減)となりました。

<その他事業>

「データ化サービス」や「ECワンストップサービス」などの提供を推進し、より利便性の高いサービス内容の追求に従事しております。

その結果、売上高は26百万円（前年同期比22百万円増、598.9%増）、営業損失は3百万円（前年同期は営業損失12百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ19百万円減少し、3,038百万円となりました。

流動資産合計は126百万円減少し、2,460百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が115百万円減少したことによるものであります。

固定資産合計は107百万円増加し、577百万円となりました。主な要因は、事業譲受等に伴いのれんが78百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ64百万円減少し、574百万円となりました。

流動負債は64百万円減少し、557百万円となりました。主な要因は、賞与引当金が28百万円増加する一方で、未払法人税等が79百万円減少したことによるものであります。

固定負債は0百万円減少し、17百万円となりました。主な要因は、退職給付に係る負債が0百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ44百万円増加し、2,463百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益100百万円の計上による増加と、剰余金の配当53百万円による減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月10日公表の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,030,368	1,914,658
受取手形及び売掛金	400,422	393,876
仕掛品	32,031	65,089
その他	124,150	86,942
貸倒引当金	△4	—
流動資産合計	2,586,967	2,460,567
固定資産		
有形固定資産	34,997	35,836
無形固定資産		
のれん	60,333	138,901
ソフトウェア	99,219	106,964
その他	10,922	2,109
無形固定資産合計	170,475	247,975
投資その他の資産	264,983	293,730
固定資産合計	470,456	577,543
資産合計	3,057,424	3,038,111
負債の部		
流動負債		
買掛金	203,402	193,527
未払法人税等	138,142	58,304
賞与引当金	14,901	43,055
その他	265,374	262,885
流動負債合計	621,820	557,773
固定負債		
退職給付に係る負債	14,708	14,454
その他	2,520	2,574
固定負債合計	17,228	17,029
負債合計	639,049	574,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	382,510	382,510
資本剰余金	438,310	438,310
利益剰余金	1,661,118	1,708,822
自己株式	△77,928	△77,928
株主資本合計	2,404,010	2,451,713
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△223	△265
為替換算調整勘定	14,588	11,860
その他の包括利益累計額合計	14,365	11,595
純資産合計	2,418,375	2,463,309
負債純資産合計	3,057,424	3,038,111

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成27年1月1日 至平成27年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成28年1月1日 至平成28年3月31日）
売上高	1,077,087	1,091,030
売上原価	645,919	662,136
売上総利益	431,168	428,893
販売費及び一般管理費	237,025	268,596
営業利益	194,142	160,296
営業外収益		
受取利息	986	955
受取配当金	112	162
持分法による投資利益	750	935
為替差益	309	—
その他	121	56
営業外収益合計	2,280	2,110
営業外費用		
為替差損	—	3,887
その他	7	8
営業外費用合計	7	3,895
経常利益	196,415	158,511
特別損失		
固定資産除却損	186	—
特別損失合計	186	—
税金等調整前四半期純利益	196,229	158,511
法人税、住民税及び事業税	73,004	56,326
法人税等調整額	△1,878	1,352
法人税等合計	71,126	57,679
四半期純利益	125,102	100,832
親会社株主に帰属する四半期純利益	125,102	100,832

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
四半期純利益	125,102	100,832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△145	△41
持分法適用会社に対する持分相当額	125	△2,728
その他の包括利益合計	△19	△2,769
四半期包括利益	125,083	98,062
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	125,083	98,062

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション 事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	I Tソリュ ーション 事業				
売上高								
外部顧客への売上高	186,600	239,490	420,808	226,373	3,813	1,077,087	—	1,077,087
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	7,935	—	5,632	—	13,568	△13,568	—
計	186,600	247,426	420,808	232,006	3,813	1,090,655	△13,568	1,077,087
セグメント利益又は 損失 (△)	103,178	29,170	110,748	48,849	△12,815	279,130	△84,987	194,142

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△84,987千円には、セグメント間取引消去△1,059千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△83,928千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ドキュメントソリューション事業」セグメントにおいて、事業譲受による、のれんを計上しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては64,331千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション 事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	I Tソリュ ーション 事業				
売上高								
外部顧客への売上高	209,109	293,040	397,607	164,622	26,650	1,091,030	—	1,091,030
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,317	—	2,170	—	8,487	△8,487	—
計	209,109	299,358	397,607	166,792	26,650	1,099,517	△8,487	1,091,030
セグメント利益又は 損失（△）	99,264	35,467	101,852	9,199	△3,940	241,842	△81,546	160,296

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△81,546千円には、セグメント間取引消去△23千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△81,522千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「投資情報事業」セグメントにおいて、事業譲受による、のれんを計上しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては83,091千円であります。